8月4日(ハシ)橋の日
日本記念日協会認定

2019年（令和元年）宮崎「橋の日」実行委員会　活動報告

第33回 宮崎「橋の日」イベント写真報告

（戸敷市長よりご挨拶）

（橋への献花）

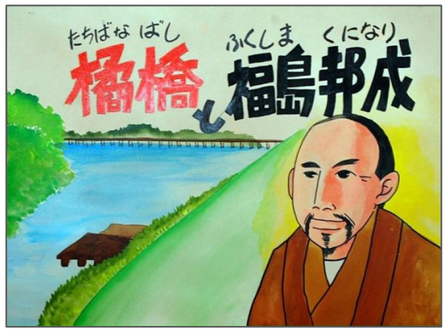
（橋みがき）

（点字ブロックの清掃）

8月4日(日)宮崎市の橘橋にて、「橋の日」イベントを160名の参加しました。式典では、戸敷市長、国土交通省宮崎河川国道事務所 神山所長、宮崎土木事務所　西田所長よりご挨拶をいただきました。その後、橋への献花、橘橋の欄干の汚れ拭き取り、点字ブロックの清掃(協力:宮崎県鋼橋コンクリート構造物塗装協同組合)をおこないました。河川敷では、国土交通省九州地方整備局宮崎河川道事務所の協力により「橘橋体験見学会＆道路老朽化対策パネル展」を開催しました。一方、とんところ地震の絵本出版、「福島邦成と橘橋」などの紙芝居上映等、年間を通じてさまざまな活動をおこなっています。

「橋の日」イベント参加者で記念撮影。

「とんところ地震」「福島邦成と橘橋」の紙芝居上映を県内各地でおこなっています。



地域の歴史やまちづくりについて、紙芝居を通じてお伝えしています。また、紙芝居の演者育成セミナーを開催するなど、活動の幅を広げています。

橋を磨く参加者ら

「橋の日」欄干磨く　宮崎で160人

「橋の日」の４日、宮崎市の大淀川にかかる橘橋の清掃活動が行われた。市民約160人が雑巾を使って、長さ約390㍍の橋の手すりを磨いた。

「橋の日」は、1985年、橋のメーカーに勤めていた延岡市出身の湯浅利彦さん(77)が８月４日の語呂合わせで提唱。清掃活動は翌年から始まった。94年に日本記念日協会に認定され、47都道府県に広まった。

初めて参加した宮崎学園高（宮崎市）２年の太田百花さん(16)は「これからは自転車で通る時にゴミを拾うなど、積極的に橋をきれいにしたい」と話した。湯浅さんも参加し、「暑い中、参加者の人たちが笑顔で磨いていてうれしい」と語った。

（読売新聞　2019年8月5日掲載）

（公財）宮崎県建設技術推進機構より、ご協賛いただき、絵本「とんところ地震」の発行、Tシャツ等を製作しました。

■親子で橋の点検体験見学会　　協力:国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所

橋梁点検車乗車体験や、橋の内部見学、ドローン操縦体験や鉄筋探査体験など、日頃、橋に触れる機会のない子供たちは、橋の役割について説明などを受け、理解を深めました。また、道路老朽化パネル展も行われました。

大型橋梁点検車に乗って
橋に近づいて、叩いたり、触ったり。

コンクリートの中の鉄筋を
探査機で調べる。

道路の老朽化対策パネル展

■地域のお宝再発見ツアーin福岡

11月23日(土)～11月24日(日)。今年で8回目となるツアーは、土木遺産、歴史遺産などを見学し、今後の活動に活用するというものです。福岡市名島橋、門司港駅周辺、大分県宇佐市院内町の石橋。群などを巡りました。写真は「名島橋」の歴史や概要を聞く参加者達。

宮崎「橋の日」実行委員会
事務局　担当:鶴羽(つるは)
宮崎市佐土原町下那珂2574-6
連絡先:090-9566-4159
FAX:0985-72-2730
ホームページ:「橋の日」で検索！